

本県独自の学力調査（SASA2013）の実施について

小・中学校の授業改善と児童生徒の学力向上のため、独自の学力調査（SASA2013）を実施

1 調査のねらい

- ・全国学力・学習状況調査（平成 25 年 4 月 24 日実施）や、過去の福井県学力調査の結果において課題となった内容を、同一・類似問題として出題。また、新学習指導要領で新設された活用力を問う問題等を出題
- ・調査実施後は、児童生徒の学習状況の課題を把握・分析し、各学校の指導法の改善や児童生徒の学力向上に活用
- ・併せて、児童生徒の学習と生活に関する意識や実態も把握

2 対象学年、教科等

小学校 5 年生（約 7, 500 名）

国語、社会、算数、理科、学習や生活に関する調査

中学校 2 年生（約 7, 700 名）

国語、社会、数学、理科、英語、学習や生活に関する調査

3 調査日 平成 25 年 12 月 13 日（金）～20 日（金）

4 問題作成の観点

- （1）全国学力・学習状況調査での課題を踏まえた出題
 - ・「文のつながりを考えて、接続語を使って内容を分けて書くこと」（小学校・国語）
 - ・「数量の関係や法則などを文字式を使って表すこと」（中学校・数学） 等
- （2）過去の福井県学力調査での課題を踏まえた出題
 - ・「資料から地方の気候の特色を読み取ること」（小学校・社会）
 - ・「疑問文に関する知識をもとに、正しい語順で書くこと」（中学校・英語） 等
- （3）新学習指導要領で新たに加えられた活用力を問う内容を出題
 - ・「実験結果をもとにブラックボックス内の配線を推察すること」（中学校・理科）等

5 調査結果の活用

調査後直ちに結果分析を行い、各学校において、年度内に、課題克服教材集（リトライプリント）を活用した指導を実施

【参考】SASA（Student Academic Skill Assessment）は、昭和 26 年度から実施しており、今回が 62 回目